



第37号 2022.6.23
発行
山形県介護福祉士会広報委員会
事務局
山形県総合社会福祉センター内

「令和4年度山形県介護福祉士会の方向性」 一般社団法人山形県介護福祉士会 会長 佐々木利典

会員の皆様におかれましては、日頃より本会事業へのご協力とご支援を頂きまして心よりお礼を申し上げます。今年度は、山形県介護福祉士会設立以来25年、一般社団法人設立10年という大きな節目を迎えております。その間、多くの機関・団体の皆様には多大なご支援を頂きました。改めて深い感謝と敬意を表します。さて、今社会は大きなうねりの中にあり、介護の業界も多岐にわたる課題を抱えております。しかしながら、私たち介護福祉士は支援を必要とされている方々に真摯に向き合い、「より良い生活」「より良い人生」を送って頂くために日々努力致しております。今後益々、国家資格を持つ介護のプロである介護福祉士への期待は大きくなっていくと思っております。昨年は、今まで経験したことのない新型コロナウイルス感染拡大による社会の混乱の中で、本会としての研修会等の事業の推進は大変困難をきたしました。今年度は、今現在の状況を踏まえつつ、予定している研修会等はしっかり進めてまいります。今、全国的に言えることとして最大の課題は、やはり会員拡大であります。一人でも多くの方にご加入を頂けるよう、可能な限り広報を通じて会の紹介・事業の案内などを行ってまいります。また、秋にはホームページのリニューアルを行い、会員の皆様に適切なタイミングで様々な情報を提供してまいります。日本介護福祉士会、山形県介護福祉士会のホームページをご覧になって頂き、倫理綱領や研修体系、厚労省との連携協働を含む様々な事業展開に触れて頂きたいと思っております。また、会員の皆様からのご意見、ご要望をお聞きしながら山形県介護福祉士会を活性化してまいりたいと理事一同、思いを新たにしております。代表理事として、事業の推進につきまして更なる皆様のご協力、ご支援を頂きますようお願い申し上げます。

一般社団法人山形県介護福祉士会第10回通常総会終わる

令和4年5月21日(土)14時30分より山形国際交流プラザビッグウイングにて、一般社団法人 山形県介護福祉士会第10回通常総会が開催されました(参加者22名、委任状181名 計203名、会員数366人の過半数を満たす)。議長には村山支部菅原浩さんにご承引頂き、昨年度の事業報告・決算報告・新年度事業計画・予算案が協議され、賛成多数で承認・可決されました。



支部活動については研修が計画された支部もありましたが、コロナウィルスの感染状況を鑑み、開催が見送られました。佐々木会長からも『コロナ禍の中、感染対策を講じながら可能な取り組みを進めてきた。現実を受けいれながら状況にあわせて進んでいきたい』と話がありました。

今回の総会では役員改選も行われ、下記のように役員が承認されました。



また、総会後は日本介護福祉士会会長及川ゆりこ氏が来県され、会員のみなさんにこれからの日本介護福祉士会での取り組みや展望が説明されました。

『介護福祉士という国家資格を持ち、専門職として職業団体があり入会できること・倫理綱領があることが最大のメリットとしながらも、みなさんがダイレクトにメリットと感じて頂ける取り組みも進めていきたい。多忙な中でも学習できる環境を整えたいと考えている。社会的立場の向上のためにも、国政に向けた発信をしていきたい。その時、団体としての会員数が重要となる。そしてみなさん1人1人の声を届けたい。そのために“運営サポーター”に登録し、直接本会に現場の声を聞かせてほしい』とのお話がありました。(平野江美)



運営サポーター登録ページ

令和4年・5年度役員体制

会 長	佐々木利典	理 事	佐藤 友彦	理 事	平野 江美	監 事	武田 友祥
副 会 長	阿部 治夫		森 富喜子		中川亜希子		阿部智恵美
同	高瀬 博行		池田 隆晃		三瓶 典子		
事務局長	斎藤 幸子		安達 秀則				

一般社団法人山形県老人福祉施設協議会

会長 峯田 幸悦

(特別養護老人ホームながまち荘施設長)

「介護福祉士に望む事」

コロナ禍という大変な状況の中、日々、感染症対策やご利用者のケアに尽力いただきありがとうございます。引き続きご利用者の健康や安心につながる関わりをお願いしたいと思います。

今、世間では「介護職」が足りないと言われ、その充足に向けた方策が様々に進められていますが、私はこの「介護職」という記述や意味合いについて、「介護福祉士」と一括りにして欲しくないと思っています。介護福祉士とは唯一の介護の国家資格であり、自立支援や権利擁護、医療との連携等の視点を持った、この高齢化社会をリードしていく立場でもあると考えています。その為、「介護職」確保と国家資格としての「介護福祉士」確保については全く違った見方がされるべきだと考えます。是非、皆様についても、その介護福祉士であるというプライドを持って仕事に臨んでいただくと共に、今後の更なる活躍をお祈り申し上げます。

会員交流のひろば

コロナ禍における施設での取り組みについて

コロナ禍に入ってからの変化の一つに、以前通常に行われていた施設でのご家族の面会やボランティアの受入等の自粛があります。入居者の方がご家族やボランティアの方と関わる機会が著しく減少し、入居者の方にとっては楽しみや刺激の一つが減ってしまったように感じていました。

私が介護をする上で大切にしていることに、『入居者の方が笑顔多く過ごせるようにすること』『入居者の方の家族も安心できるような支援をすること』ということがあります。コロナ禍に入り、特に自粛や制限と言われるようなことが増えてきましたが、その中でも入居者の方が笑顔で生活できるように、施設行事の文化祭やユニットでの行事、ドライブ等は感染症対策をとりながら実施しています。また、最近では特にコロナ禍が長くなっていることもあり、どのようにご家族に入居者の方の様子や生活状況等を報告していくべきかを施設全体で考えるようになりました。電話連絡等も行ってはいますが、なかなか実際の生活状況を口頭のみで伝えるのは難しい場合も多く、個別に写真付きの広報紙の発行も定期的に行っています。(最近では個別で環境を整えながら、シールド板越しでの面会も行っている場合もあります。)

現在も様々な制限が残っている中ではありますが、他施設での取り組み等も含め情報交換を行い、感染症対策をとりながらご家族や他者との関わり、行事の実施等、入居者の方の笑顔が増えるような取り組みを検討していければと思っています。

村山支部 C.A

【編集後記】

新入職員が入職して約3か月。職場になじめてきてますか？世の中コロナで、交流会も思うように出来ない状況です。貴重な新人さん、身体(知識・技術)もココロも大切に育てて貰えるよう見守りたいですね。(E. H)

各種研修申し込み受付中

- ◎介護福祉士実習指導員講習
 - ◎基本研修※
 - ◎ファーストステップ研修※
- ホームページまたは事務局まで



※随時受付しています!

公益社団法人 日本介護福祉士会
Japan Association of Certified Care Workers

大会・学会情報

PROGRAMS

第29回全国大会・第20回日本介護学会
in かながわ

「逃げる・生きる・整える」

日時: 令和4年10月19(水)、20日(木)

開催方法: 会場及びオンラインでの
ハイブリッド開催

広報からお知らせ

昨年度まで年5回お届けしていた会報ですが、今年度より年3回となります。

減号した分、内容をより濃くお届けできるよう努めていきます。外部の方からの寄稿も企画しています。ぜひ、目を通してください。

まだ会員でないお仲間にも見て貰えると嬉しいです!



皆さんの声を募集します

FAX・メールでお寄せください!

山形県介護福祉士会

検索